

コラム：37【大学休学を巡って】

希望した大学に合格できず、なんとか滑り止めに合格した若者。親は、所属がないと困るはずと思い「入学金納入するよ」と言い渡し、強引に入学金を払いました。その後、本人は「入学する気なんかない！」と、入学金を無視して、再度受験することを決めました。家の中の雰囲気は悪くなり、そのうえ、翌年も第一志望には合格できませんでした。

今度は渋々滑り止めの大学に入学したものの、コロナ禍によるリモート授業で、本人はやる気を失い、やけくそな感じで留年し「自分の人生は終わった」と部屋に閉じこもるようになりました。

前回の入学金の支払いは、本人に相談する前に親が勝手に決めたことでした。今回は、本人に「あなたに安心して考える時間を持ってもらいたいから、休学金を払いたい。」と休学手続きをする前に本人に相談することをすすめました。

成績優秀だった中高時代と関わり方のパターンが変わっていますので、親子にとって関係性を考え直すキッカケになることを祈ります。